第１号様式　　主要事業の進行状況報告書　　平成 20 年 9 月 30 日

８６	建設局	地域特性に応じたヒートアイランド対策としての舗装
事業概要	大都市特有の課題であるヒートアイランド対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。 さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成 19 年度に試験施工し、平成 20 年度から本格実施している。	
これまでの経過	○　保水性舗装 真夏の降雨後に一般の舗装と比較して路面温度で 10℃程度の上昇抑制効果などが確認できた。（平成 14 年度調査結果） 平成19年度は、特例都道 二四七号線（千代田区霞ヶ関二丁目～霞ヶ関三丁目地内）外６箇所で、延長2,060ｍ、面積35,500平方メートルを実施した。 保水性舗装のこれまでの施工実績は、延長10,800ｍ、面積173,000平方メートルである。 ○　遮熱性舗装 平成19年度は、共同実験による試験舗装を新大橋通りで実施し、効果や耐久性などの検証を行うとともに、靖国通り（千代田区神田神保町一丁目地内）外２箇所で、延長760ｍ、面積12,000平方メートルの試験施工を行った。	
現在の進行状況	○　保水性舗装 平成20年度は、江戸通り（中央区日本橋本石町四丁目～日本橋室町三丁目地内）外２箇所で、延長990ｍ、面積19,000平方メートルを実施する。 ○　遮熱性舗装 平成20年度は、晴海通り（千代田区有楽町一丁目地内）外５箇所で、延長1,860ｍ、面積43,000平方メートルを実施する。 経年変化に伴う路面温度上昇抑制効果の持続性や耐久性などについては、引き続き検証を行う。	
今後の見通し	今後とも、ヒートアイランド対策の一環として、遮熱性舗装、保水性舗装を積極的に実施していく。	

問い合わせ先	建設局　道路管理部　保全課	電話	03-5320-5292